Leo Lamina enlarging obstinate plate

Surgical Technique

medical.order.japan
日本メディカルオーダー株式会社

目 次

Surgical Technique Steps

1 STEP1　展開

STEP2　骨溝の作成

STEP3　椎弓開大

2 STEP4　プレートのサイズ選択

STEP5　プレートの把持

STEP6　プレートの設置

3 STEP7　スクリューホールの作成

STEP8　スクリューの準備

4 STEP9　スクリューの挿入

抜去手順

器械一覧

インプラント一覧

STEP 1

展開

患者様を腹臥位にし、頭部と頚部をしっかりと固定します。
正中線縦切開にて展開していき、棘突起と椎弓を露出させます。
［図1］

注意：開大側を十分に横方向に露出させて、プレートの設置スペースを確保してください。

［図1］

STEP 2

骨溝の作成

片開き法を行うには、ドリルなどを使用して、後弓部のオープン側に椎弓を完全に貫通する骨溝［図2］と、ヒンジ側に楔状の骨溝を作ります［図3］。

注意：ヒンジ側は削りすぎると不安定になるため、バネ様の抵抗感を確認しながら少しずつ削ってください。オープン側のように骨切離しないよう、十分に注意してください。

［図2］オープン側
骨溝の作成

［図3］ヒンジ側
楔状の骨溝の作成

STEP 3

椎弓開大

椎弓のオープン側を持ち上げ、開くことを確認したのち、ゆっくりと椎弓を開大します［図4］。

注意：ヒンジ側が壊れる恐れがあるため、過剰な力を加えないでください。必要に応じて黄色靭帯を切離してください。

［図4］

STEP 4

プレートのサイズ選択

トライアルとフックメジャーメントでの計測をもとに、患者様にあった最適なプレートサイズを選択します。

開大した椎弓端と外側塊端の間にトライアルを挿入し、開大部の長さを計測してプレート長を決定します［図5］。

開大した椎弓端にフックメジャーメントを当て込み、骨の厚さを計測してプレートのフック幅を決定します［図6］。

LP-TRIAL-S　8mm-10mm
LP-TRIAL-M　12mm-14mm
トライアル

LP-SIZER　5mm / 7mm（WIDE）
フックメジャーメント

［図5］

［図6］

STEP 5

プレートの把持

プレートグリッパーの先端にある目印の黒いラインとプレートのブリッジ部が合致するように把持します［図7］。

プレートグリッパーの持ち手をつまみ、クリック音が鳴ると把持されます。外すときは、再度持ち手をつまみます。

注意：つまみ方が強いと把持されにくいため注意してください。

LP-PHOLDER
プレートグリッパー

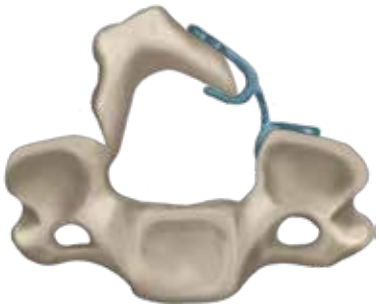
［図7］

STEP 6

プレートの設置

プレートのフック部を椎弓端に滑り込ませるように嵌め込み、外側塊端にプレートの外側部を設置します［図8］。

注意：スクリューを確実に固定させるためプレートの接地面に配慮してください。



［図8］

STEP 7

スクリューホールの作成

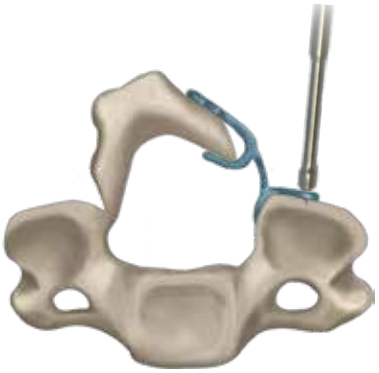
オウルまたはドリルビットを用いてスクリューの下穴を作成します。いずれもハンドルに装着して使用します。

オウルを用いるときは、先端がプレートホールの中央にくるようにあわせ、ストッパーがプレートに接触するまでハンドルをしっかりと押し下げます［図９］。

LP-AWL
オウル

LP-HANDLE
ハンドル

LP-DRILL5　径2㎜×長5㎜
LP-DRILL7　径2㎜×長7㎜
ドリルビット



［図９］

STEP 8

スクリューの準備

セルフタップスクリューまたはセリフドリルスクリューから適切な径と長さのスクリューを選択します。

ドライバーシャフトをハンドルに装着し、ドライバーの先端にスクリューをしっかりと嵌め込みます［図10］。スクリューヘッドに垂直にドライバーを押しつけるように嵌め、ケースからまっすぐ引き抜くことで把持が安定します。外すときは、ドライバーを軽く傾けるようにします。

注意：ケースから引き抜くとき、ドライバーが傾いているとスクリューが外れやすくなるため注意してください。

スクリューが外れる可能性があるため、ドライバーにスクリューを嵌めたまま手術台などに置かないでください。

ドライバーの先端に骨ロウなどをつけて使用すると、ドライバーがスクリューを把持できないことがあります。

LP-DRIVER
ドライバーシャフト

LP-HANDLE
ハンドル

［図10］

STEP 9

スクリューの挿入

外側塊側からスクリューを挿入して固定していきます。

プレートホールを通してスクリューを挿入し、プレートに固定されるまでドライバーを指先で回します［図12］。スクリューを完全に挿入したら、ドライバーを軽く傾けて外し、プレートグリッパーを外します。

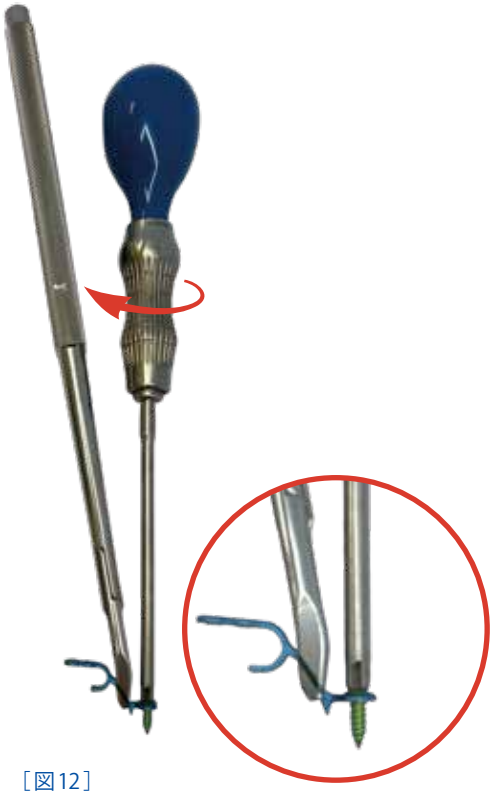
続いて、椎弓側のスクリューホールを作成し、スクリューを挿入して固定していきます。

各椎体で同様の操作を繰り返します。［図13］

LP-DRIVER
ドライバーシャフト

LP-HANDLE
ハンドル

LP-PHOLDER
プレートグリッパー



［図12］

［図13］

抜去手順

ドライバーでスクリューを反時計方向に回して取り外します。
プレートグリッパーですべてのプレートを抜去します。

LP-DRIVER
ドライバーシャフト

LP-HANDLE
ハンドル

LP-PHOLDER
プレートグリッパー

Instrument

器械点数を少なくし、術者のご要望にあわせた器械の開発により手術に携わる方々のストレスを軽減します。
また、スクリュードライバーの先端に特殊加工を施し、スクリューをしっかりと把持することが可能です。
設置後、スクリューからドライバーを外す際は、軽く傾けることでホールドが解除されます。

器械一覧

製品番号 / 規格
製品名

LP-TRIAL-S　8㎜-10㎜
LP-TRIAL-M　12㎜-14㎜
トライアル

LP-SIZER*　5㎜ / 7㎜（WIDE）
フックメジャーメント

LP-PHOLDER
プレートグリッパー

LP-PHOLDER-C*
オフセットグリッパー

LP-AWL
オウル

LP-DRILL5　径2㎜×長5㎜
LP-DRILL7　径2㎜×長7㎜
ドリルビット

LP-DRIVER
ドライバーシャフト

LP-DRIVER-C*
ドライバーシャフト ロング

LP-HANDLE
ハンドル

LP-HANDLE-S*
ショートハンドル

LP-HANDLE-C*
リジットハンドル

*オプションとなります

製品番号	品名	規格
CPML08	プレートML 2穴	8 mm
CPML10		10mm
CPML12		12mm
CPML14		14mm
CPCC08	プレートCC 2穴	8 mm
CPCC10		10mm
CPCC12		12mm
CPCC14		14mm
CPWC08	プレートCC 2穴 WIDE	8 mm
CPWC10		10mm
CPWC12		12mm
CPWC14		14mm

製品番号	品名	規格
CPS2405	セルフタップスクリュー Φ2.4	5 mm
CPS2407		7 mm
CPS2409		9 mm
CPS2605	セルフドリルスクリュー Φ2.6	5 mm
CPS2607		7 mm
CPS2805	リカバリースクリュー Φ2.8	5 mm
CPS2807		7 mm
CPS2809		9 mm

製造販売業者 日本メディカルオーダー株式会社

〒940-2023 新潟県長岡市蓮潟町294番地14
お問合せ先 TEL 0258-89-8140
http://www.med-order-j.com

医療機器承認 / 届出番号	販売名
30300BZX00152000	Leo プレート
15B1X10004000003	Leo プレートシステム

この印刷物に掲載の仕様・形状は改良等の理由により予告なしに変更されることがあります。製品についてご不明な点がありましたら、弊社までお問合せください。